

都島中央キリスト教会 礼拝者の皆さんへ

主の御名を賛美いたします。

ご存じのように、現在、新型コロナウイルスによる感染で世界中が混乱しています。この日本でも昨日 100 人以上の感染者。大阪でも 20 名の感染者が出たとの報告がありました。欧米の教会では、たった数週間で、多くの人の感染、多くの人のいのちが失われています。そしてその状況下、礼拝や諸集会の礼拝ができなくなる状態が続いています。

その初期には、教会のイベントなどでの感染例も報じられています。(ただ教会に集まる人数の桁が違います)。この病の怖さは、感染していても気づかず、人にうつすこともあるということです。そして、昨晚もお知らせしたように、大阪府ではこの土日の不要不急の外出自粛の要請がなされました。

さて、わたしは皆さんに祈っていただきました。またわたしも祈り、まず明日の礼拝会について、

1. 皆さんの主にある肉体の健康と魂の平安、感染の危険性を鑑みること。
2. これが、ひとりひとりのいのちに関わることであること。
3. この状況下で、いかに心を合わせて主にある礼拝をささげ、キリストのからだなる教会を建て上げるか、チャレンジされていることであること。

上記のように、信仰によって受け止めて検討しました。

◎ここで結論から申し上げます。注意してお聞きください。以下は信仰の決断として語ります。

1. 3月29日の教会礼拝堂での礼拝は、原則、奉仕者のみの礼拝といたします。
2. 遠隔地から来られる方々（公共交通機関を用いて来られる方など）は、教会堂での礼拝参加をおやめいただくようお勧めします。
3. 特に高齢の方、健康に不安を持っている方、そして風邪気味の方、熱のある方など、そのような方の教会堂での礼拝参加もおやめいただくようお勧めします。
4. それでもどうしても教会堂での礼拝に参加したいという方は、まず牧師または、ともみ師までご連絡ください。お話を伺います。

3月29日の礼拝をともにささげるために

◎まず、お勧めします。

日曜日の午前11時から、都島中央キリスト教会は礼拝をささげます（約1時間）。

どうぞ、それぞれの場所で、その時間に心を合わせ、賛美と祈り、そして聖書を開いて礼拝を持つことができるひと時をお持ちください。（※同刻礼拝）

◎その礼拝をもっと身近感じていただくために、以下の方法を用意しています。

A. スマホやPC、インターネット環境での視聴が可能な方

- 1) 3月29日の礼拝をライブ映像（Youtube ライブ）で配信します。
下記 URL または QR コードで、「★礼拝動画ページ」に入ることができます。

<https://miyakojima-ch.com/fwd3/reihai/>

ご覧になれる方は、ぜひ午前11時からの LIVE 配信礼拝で、一緒に
神さまを礼拝しましょう！

（実際には、少し前から配信は開始しています。※少し途中で止まる
ということもあるかもしれません。ぜひ読み込み直したりして、忍耐
強くご覧いただければ感謝です）。



- 2) 上記「★礼拝動画ページ」には、①週報 ②メッセージアウトライン もダウンロードできるようにしておくつもりです。
- 3) LIVE 配信を終えた後、礼拝動画はそのまま残っています。また、数時間後には、礼拝音声もダウンロードできる状態にします。
もし同刻礼拝をささげることができなかった方も、ぜひそれらをご利用ください。

B. スマホやPC、インターネット環境がない方

★ぜひ午前11時に祈り心をもって聖書を開き、主に心に向けて礼拝をささげていただければ感謝です。

- 後ほどDVDまたはCD、それと週報をお届けします。（直接または郵送にて）
- DVDがいいか、CDがいいか、どちらかお知らせください。

C. 平日の諸集会について

- 毎週水曜日 午後7時半からの祈禱会は継続します。(人数がすくない)。
- 以前から案内していた、木曜日午前の祈禱会について、・人数が少ないこと ・短時間(全1時間)であること ・祈りを中心とすること を主眼として、始めてまいります。

★毎週木曜日午前11時より

- なお、現在 Skype または Zoom という双方向(会議用)の映像配信にて、スマホ・インターネット環境のある方も参加いただけるように考えています。

- 婦人祈禱会(祈りと学びと、交わりの時間)については、4月はお休みします。
- 毎週日曜日午前10時の「聖書の学び」について、上記会議用映像配信にて、ご参加できるように検討中です。

D. 4月に予定されているイースターについて

- 現時点で、イースターの時期(4/12)の状況は見えていません。ただし、これまで持ってきていた、イースター礼拝後の「祝会」については、今回やめることとします。
- 「こどものイースター会」については、今後検討します。お祈りください。

E. 献金について

礼拝は、御言葉と祝福の祈りをしてもらい、だけではなく、応答の賛美と祈り、そして感謝の献げもの(献金)が大切です。もしかしたらこの状況がしばらく続くかもしれない中ですが、週ごとの献金と什一献金、感謝献金などを、ご自分の手元の封筒などに入れておき、次に教会に来られる機会にお持ちください。(もしくは送金も可能です。詳しくは会計の砂辺洋子姉妹におたずねください)。

※なお皆さんが大変な状態の中にあるのと同様、教会の働きも月ごとの必要の満たしによって成り立っています。ぜひお祈りくだされば感謝です。

F. このような礼拝対応の継続について

このような詳細な文書を皆さんに、お渡しするのは今回だけとなると思います。

代わりに、これまで3月から教会内外、また教会ホームページに掲載している、「礼拝でのお願い」ポスターを、毎週更新します。またわたしたちの方から、時々皆さんの様子をうかがうお電話を差し上げます。

G. 最後に

以上、この2か月ほどで世界を覆う、未曾有の疫病の流行の中でも、わたしたちが見上げて、心から信頼すべきは、わたしたちの救い主イエス・キリスト、わたしたちの主なる神です。

毎日の祈り「COVID-19 共同の祈り」は、全世界のクリスチャンが同じ御言葉に心を開き、信仰の告白と共にとりなし祈っています。ぜひ主にあつてともに祈り、この難局に勝利をすることができれば感謝です。



最期に御言葉をお送りします。

「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」

(ヨハネによる福音書 14 : 27)

最後に、兄弟たちよ。いつも喜びなさい。全き者となりなさい。互に励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいて下さるであろう。

(コリント人への第二の手紙 13 : 11)

そして今年の御言葉を心にしっかり留めていてください。

信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

(ヘブル人への手紙 11 : 6)

皆さんの、心身の健康、そして何よりも主と共にある歩みと慰め、平安のためにお祈りいたします。

都島中央キリスト教会 片平 勝
片平ともみ
役員スタッフ一同